

11月中旬には満月ほどの大きさに見える！！

ホームズ彗星ニュース



ホームズ彗星は現在ペルセウス座に輝いています。カシオペア座からたどって行くと良いでしょう。明るいのですぐに分かります。双眼鏡を向けると、青緑色のぼんやりした美しい姿に感動します。彗星は毎日少しずつ移動して行きます。

観測史上初めての珍しい現象！

ホームズ彗星は23日までは明るさが17等級と肉眼で観る最も暗い星の1/5000の明るさしかなく、ほとんど注目されていませんでした。

ところが、24～25日にかけて、彗星本体にアウトバーストと呼ばれる現象が起き、17等級からおよそ50万倍の明るさとなる2等級まで爆発的に明るさが増しました。

彗星は、現在カシオペア座のとなりのペルセウス座に位置し、肉眼でもはっきり分かる明るさで輝いています。

彗星の動きはゆっくりで、当分はペルセウス座に位置するため、今後晴れた日には誰もが確認することができます。

次第に巨大になって行く！

25日以降の観測では、彗星は次第に大きくなっており、6日間で約10倍の大きさに発達しました。

望遠鏡で観ると、丸い円盤状の光の中に、三角形の明るい構造と、きらりと輝く点状の核を確認することができます。

彗星は次第に遠ざかっているのですが、見かけの大きさは増しており、国立天文台などの予測では、11月の中頃には、満月の大きさほどになると予想されています。明るさは淡くなると思いますが、星空に満月のような斑点がぼっかりと浮いているような不思議な光景が見られるかも知れません。

*アウトバースト

彗星の核から一時的に大量のガスや塵が噴出し、太陽光を受けて反射するために明るさが急に増光する現象。

*ホームズ彗星

1892年に発見された周期彗星で、発見時にも4等級の明るさになるアウトバーストがおこったことが記録されている。今回のような大規模のアウトバーストは、約10等級も明るくなった1973年のタートル・ジャコビニ・クレサーク彗星を上回る観測史上かつて無い珍しい現象と言える。

望遠鏡で撮影したホームズ彗星

10月31日

10月28日

10月25日

10' (直径は満月の1/3)

望遠鏡で観る彗星の姿はとても神秘的です。彗星というと尾が見えるイメージがありますが、ホームズ彗星は尾が見えません。遠ざかっているのになぜ大きくなって行くのでしょうか。それは、24日のアウトバーストで噴出された物質が、次第に外側に拡散しているためだと思われます。拡散して大きく見えるようになりますが、明るさは次第に暗くなると予想されます。

2007.10.31 10:10:31 UT
EOS 10 Mark II, Canon EF 14L, Luminor, Giant Entry Guide
F6.7 ISO 1600, Exp. 30sec, AWB, RAW
Kamihayashi-VII, Nagata JAPAN shigehi@planet.com

2007.10.28 11:50:05 UT
EOS 10 Mark II, Canon EF 14L, Luminor, Giant Entry Guide
F6.7 ISO 1600, Exp. 30sec, AWB, RAW
Kamihayashi-VII, Nagata JAPAN

2007.10.25 18:53:00 UT
EOS 10 Mark II, Canon EF 14L, Luminor, Giant Entry Guide
F6.7 ISO 1600, Exp. 30sec, AWB, RAW
Shimizu-Hiroshi, Nagata JAPAN

11月9日はポーラースター神林の公開日です。ホームズ彗星を見る絶好のチャンスです！

発信元 JPL 日本プラネタリウムラボラトリー-inc. 新潟中央区米山3-1-8 TEL 025-243-8830 FAX 025-245-4683 jpl@jplnet.com 沼澤、脇屋